



だんだん

※「だんだん」は、西日本の一部地方の方言で「ありがとう」という意味です。

社会福祉協議会ニュータウン中央南支部の広報「だんだん」です。内野、原山、高花小学校区をエリアに、人と人のつながりをつくる地域福祉の活動をしています。

社会福祉協議会とは？

通称、社協（しゃきょう）です。よく「写経」と間違えられます（^_^）。印西市から委託を受け、さまざまな福祉事業を行っている社会福祉法人です。災害ボランティアの受け付けなどで、耳にされたこともおありでしょう。市内を8つの支部に分け、支部ごとに「地域福祉」活動に取り組んでいます。

地域福祉とは？

ご近所での声のかけあい、助け合いが「地域福祉」です。市では「地域福祉計画」をつくり、人と人のつながりで安心安全な地域社会をつくることを目指しています。当支部も市の計画に沿い、交流づくりの活動をしています。



山下支部長
(高花6丁目在住)

コロナ禍で人が集まることができず、地域の繋がりも弱くなっています。そこで、地域の皆さんの生活実感を教えていただきたく、アンケートを実施することにしました。

困りごとアンケートにご協力ください！

いつも、
たまに、
ささいな

困っていること、ありませんか？

地域の生活実感を教えてください。

当支部では、例年、高齢者が集い「だんだんランチ」「だんだんカフェ」、高齢者と中学生の交流の場の「だんだんの集い」、高齢者、親世代、子どもと一緒にプレーする「三世代交流ユニカール大会」など交流事業を行ってきましたが、今年度はコロナ禍ですべて見合わせています。そこで、これからの活動を見直す機会にするために、今、地域で何が求められているか、困りごとアンケートを実施することにしました。

貴方の悩みや困りごとは、実はみんなが困っていることかもしれません。共有することで解決のアイデアが生まれてくるかもしれません。

「こんなことに困っている」「こんなことが心配」事例を参考に
なんでも自由に記入してください。



ご記入いただいたアンケート用紙は、添付の封筒に入れて、2
月末までにポストに投函してください。



アンケート集計後、困りごとを地域で共有する、NT南地区独自の「困ったときの便利帳」を作成し、全戸に配布する予定です。



しめきりは2月末です。

問合せ
連絡先

内野・戸神台・中央南/志賀 090-4672-5493、増田 080-5082-0970

原山/平野 080-8741-7762、村上 090-2528-0495

高花/山下 090-2445-5675

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、だんだんランチ、だんだんの集い等の交流づくり事業はすべて中止しています。

もはや生活必需品

オリジナルマスクづくり



コロナ禍でいつも会っている人になかなかお会いできません。皆さんがどう過ごされているかわからない状況のなか、なんとか繋がりを保つ方法はないかと思案の結果、もはや生活必需品となったマスクを手作りしてお届けし、近況を伺うことにしました。

さっそくボランティア参加を呼びかけ、オリジナルマスクと外食中のエチケット、マスクカバーのセットを丸二日間かけ、のべ60人のボランティアで150セット作成、お届けしました。

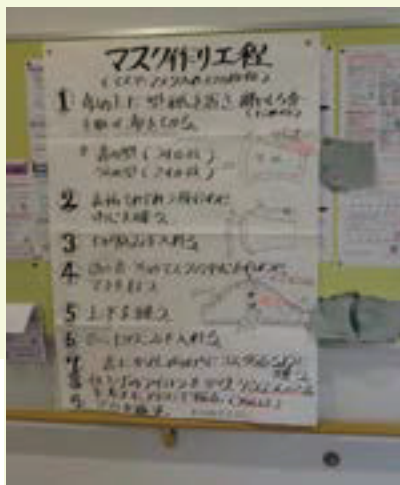
貴重ないんざい君の折り紙つき。



だんだんのオリジナルシールをプリントしました。



型紙にあわせて布を裁断



おしゃべりせず黙々と作業。
心をこめて作りました。



慣れない作業も皆と一緒になら楽しい！

と一緒に 地域福祉活動しませんか！

地域で何か役に立ちたい、地域の見守りを充実させたい、人とつながりたい、料理や車の運転など自分の得意なことを活かしたい、そんな方はぜひ表面の社協メンバーにご連絡ください！